

Ⅷ 公民館等区有施設平成29年度以降集落別施設整備計画

地区名	事業区分	要望内容	施工箇所	要望理由	具体的な要望事項
尉ヶ畑	施設改修と施設設備整備	公民館他区所有施設の修繕・改修及び新設設置設備等の整備	公民館他区有施設等	施設の老朽化等による修繕・改修、新設 施設設備等の老朽化等による更新、新設	第二公民館サッシの入れ替え・床の修理等 区所有作業場屋根葺き替え他
奥山	施設改修と施設設備整備	公民館他区所有施設の修繕・改修及び新設設置設備等の整備	公民館他区有施設等	施設の老朽化等による修繕・改修、新設 施設設備等の老朽化等による更新、新設	書庫の増築
一二俣	施設改修と施設設備整備	公民館他区所有施設の修繕・改修及び新設設置設備等の整備	公民館他区有施設等	施設の老朽化等による修繕・改修、新設 施設設備等の老朽化等による更新、新設	公民館床修繕等 区所有作業場前広場改修
小桑	施設改修と施設設備整備	公民館他区所有施設の修繕・改修及び新設設置設備等の整備	公民館他区有施設等	施設の老朽化等による修繕・改修、新設 施設設備等の老朽化等による更新、新設	公民館設備整備 エアコンの設置 ゴミ収集箱の設置 バス待合室の新設
佐野甲	施設改修と施設設備整備	公民館他区所有施設の修繕・改修及び新設設置設備等の整備	公民館他区有施設等	施設の老朽化等による修繕・改修、新設 施設設備等の老朽化等による更新、新設	公民館外壁・犬走り等の改修 こども館トイレの増築 公民館設備整備 屋外時計、ガストップ、オープンレンジ 公園施設の更新 バasketボール バス待合室の新設
佐野乙	施設改修と施設設備整備	公民館他区所有施設の修繕・改修及び新設設置設備等の整備	公民館他区有施設等	施設の老朽化等による修繕・改修、新設 施設設備等の老朽化等による更新、新設	バス待合室の新設
佐野丙	施設改修と施設設備整備	公民館他区所有施設の修繕・改修及び新設設置設備等の整備	公民館他区有施設等	施設の老朽化等による修繕・改修、新設 施設設備等の老朽化等による更新、新設	ゴミ収集箱の設置
安養寺	施設改修と施設設備整備	公民館他区所有施設の修繕・改修及び新設設置設備等の整備	公民館他区有施設等	施設の老朽化等による修繕・改修、新設 施設設備等の老朽化等による更新、新設	バス待合室の新設
野中	施設改修と施設設備整備	公民館他区所有施設の修繕・改修及び新設設置設備等の整備	公民館他区有施設等	施設の老朽化等による修繕・改修、新設 施設設備等の老朽化等による更新、新設	物入れ屋根改修 バス待合室の新設
郷	施設改修と施設設備整備	公民館他区所有施設の修繕・改修及び新設設置設備等の整備	公民館他区有施設等	施設の老朽化等による修繕・改修、新設 施設設備等の老朽化等による更新、新設	作業場施設改修 屋根・外壁等 区設置新聞受改修
円頓寺	施設改修と施設設備整備	公民館他区所有施設の修繕・改修及び新設設置設備等の整備	公民館他区有施設等	施設の老朽化等による修繕・改修、新設 施設設備等の老朽化等による更新、新設	公民館施設改修 外壁等 公民館設備 エアコンの更新
坂谷	施設改修と施設設備整備	公民館他区所有施設の修繕・改修及び新設設置設備等の整備	公民館他区有施設等	施設の老朽化等による修繕・改修、新設 施設設備等の老朽化等による更新、新設	公民館施設改修 屋根、トコ等
長野	施設改修と施設設備整備	公民館他区所有施設の修繕・改修及び新設設置設備等の整備	公民館他区有施設等	施設の老朽化等による修繕・改修、新設 施設設備等の老朽化等による更新、新設	公民館施設改修 トイレ・バリアフリー化等の改修 公民館設備整備 エアコン・ストーブ・冷蔵庫等整備 公民館敷地舗装 倉庫施設改修 区所有農業倉庫の改修
竹藤	施設改修と施設設備整備	公民館他区所有施設の修繕・改修及び新設設置設備等の整備	公民館他区有施設等	施設の老朽化等による修繕・改修、新設 施設設備等の老朽化等による更新、新設	公民館施設改修 屋根、エアコン等 公民館設備整備 エアコンの設置・テーブル・調理器具等 倉庫施設改修 ジャッキ、外壁、屋根等 ゴミ収集箱の設置 バス待合室の新設
女布	施設改修と施設設備整備	公民館他区所有施設の修繕・改修及び新設設置設備等の整備	公民館他区有施設等	施設の老朽化等による修繕・改修、新設 施設設備等の老朽化等による更新、新設	公園施設鉄棒・ワゴン等遊具の更新 ゴミ収集箱の設置
丸山	施設改修と施設設備整備	公民館他区所有施設の修繕・改修及び新設設置設備等の整備	公民館他区有施設等	施設の老朽化等による修繕・改修、新設 施設設備等の老朽化等による更新、新設	公民館施設改修 屋根・外壁等 公園施設 鉄棒・ワゴン等遊具の更新 ゴミ収集箱の設置 資源ゴミ回収施設の新築
永留	施設改修と施設設備整備	公民館他区所有施設の修繕・改修及び新設設置設備等の整備	公民館他区有施設等	施設の老朽化等による修繕・改修、新設 施設設備等の老朽化等による更新、新設	公民館施設改修 屋根等 公民館設備整備 エアコンの更新設置等 バス待合室の新設

佐濃地区の世帯・人口の推移

	世帯数	男(人)	女(人)	総人口(人)	備 考
大正 9年	734	1,708	1,669	3,377	第1回国勢調査佐濃村誌より
大正14年	721	1,672	1,690	3,362	第2回国勢調査佐濃村誌より
昭和 5年	724	1,715	1,750	3,465	第3回国勢調査佐濃村誌より
昭和10年	796	1,627	1,669	3,296	第4回国勢調査佐濃村誌より
昭和15年	666	1,639	1,720	3,359	第5回国勢調査佐濃村誌より
昭和22年	723	1,796	2,015	3,811	臨時国勢調査佐濃村誌より
昭和25年	715	1,759	1,947	3,706	国勢調査佐濃村誌より
昭和29年	687	1,708	1,848	3,556	住民登録佐濃村誌より
昭和30年	683	1,672	1,811	3,483	住民登録佐濃村誌より
昭和33年	683	1,690	1,773	3,463	住民登録佐濃村誌より
昭和40年	—	—	—	2,873	住民登録京丹後市より
昭和50年	—	—	—	2,382	住民登録京丹後市より
昭和55年	601	—	—	2,310	住民登録京丹後市より
平成 2年	595	1,136	1,201	2,337	住民登録京丹後市より
平成12年	571	970	1,069	2,039	国勢調査京丹後市より
平成22年	556	838	918	1,756	国勢調査京丹後市より
平成28年	622	815	880	1,695	住民登録京丹後市より

【資料 2】

集落別浄化槽設置及び下水道接続世帯数一覧 平成28年10月31日現在 市下水道課提供

地区名	世帯数	接続世帯数 (下水道)	設置世帯数 (浄化槽)	接続率 %	設置率 %
耐ヶ畑	53		29		54.72
奥 山	7		3		42.86
二 俣	26		10		38.46
小 桑	46	20		43.48	
佐野甲	83	39		46.99	
佐野乙	16	14		87.50	
佐野丙	22	6		27.27	
安養寺	39	20		51.28	
野 中	41	18		43.90	
郷	38	22		57.89	
円頓寺	30		13		43.33
坂 谷	4		1		25.00
長 野	28		9		32.14
竹 藤	23		4		17.39
女 布	32		18		56.25
丸 山	46		22		47.83
永 留	86		25		29.07
計	620	139	134		
		285	335	48.77	40.00
		下水道対象 区域世帯数	浄化槽対象 区域世帯数	接続区域全体として接続率	設置区域全体として設置率

年代別集落人口平成28年3月末現在

(京丹後市提供資料)

【資料 3】

	0~9歳	10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代		80歳代		90歳以上		集計	総計	55歳以上		65歳以上	
		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)			人数	割合(%)	人数	割合(%)
尉ヶ畑	男	6	11	6	10	6	10	7	9	12	10	10	7	9	7	9	1	1	1	78	163	30	44.79	21	31.90
	女	2	10	10	10	6	10	6	10	10	10	8	7	7	7	16	6	6	85			43		31	
奥山	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	5	9	4	88.89	3	77.78
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	2	1	4			4		4	
二俣	男	2	0	0	2	4	4	4	4	5	5	6	3	7	3	7	6	0	0	32	69	20	60.87	11	37.68
	女	3	0	5	7	4	4	1	6	3	8	8	7	8	8	8	0	0	2	37		22		15	
小桑	男	9	8	5	7	5	6	5	6	11	8	7	8	8	8	8	0	0	0	70	141	29	45.39	21	34.75
	女	8	5	5	5	6	9	6	9	8	7	7	10	9	10	9	4	4	4	71		35		28	
佐野甲	男	8	8	6	6	14	8	14	8	10	26	26	12	12	12	4	4	4	100	205	49	53.17	36	39.02	
	女	6	9	5	5	10	13	10	13	6	25	25	12	12	10	10	9	9	105			60		44	
佐野乙	男	1	1	0	0	3	4	3	4	1	2	2	2	2	2	1	0	0	15	31	6	48.39	5	45.16	
	女	2	3	0	0	1	1	1	1	0	4	4	3	3	3	2	0	0	16			9		9	
佐野丙	男	1	5	2	2	3	2	3	2	3	4	4	4	4	4	3	0	0	27	55	14	52.73	8	36.36	
	女	3	3	1	1	3	2	3	2	2	3	3	6	6	6	3	3	2	28			15		12	
安養寺	男	4	4	2	2	5	5	5	5	8	12	12	4	4	4	6	6	3	53	101	31	58.42	16	33.66	
	女	0	2	7	7	7	3	7	3	7	9	9	5	5	5	6	6	4	48			28		18	
野中	男	3	6	6	6	5	5	5	5	8	13	13	2	2	2	4	4	1	53	106	26	53.77	16	33.96	
	女	2	3	3	3	7	4	4	4	9	11	11	2	2	2	10	10	2	53			31		20	
郷	男	4	2	2	2	5	2	5	2	6	12	12	3	3	3	6	6	1	43	90	25	58.89	13	34.44	
	女	5	1	0	0	8	3	8	3	6	10	10	5	5	5	8	8	1	47			28		18	
円頓寺	男	1	1	1	1	4	4	4	4	6	8	8	9	9	9	7	7	0	41	79	26	73.42	21	56.96	
	女	0	0	0	0	3	3	3	3	6	10	10	4	4	10	4	4	2	38			32		24	
坂谷	男	0	0	1	1	0	2	0	2	2	1	1	1	1	1	0	0	0	7	16	3	37.50	2	25.00	
	女	0	2	1	1	2	0	2	0	2	1	1	0	0	0	1	1	0	9			3		2	
長野	男	2	2	4	4	4	1	4	1	9	4	4	2	2	2	5	5	1	34	79	17	50.63	9	34.18	
	女	1	4	5	3	6	6	3	6	7	3	3	8	8	8	5	5	3	45			23		18	
竹藤	男	2	3	2	3	5	3	3	3	4	6	6	3	3	3	5	5	1	34	62	16	54.84	12	40.32	
	女	0	5	0	0	1	1	1	1	8	3	3	4	4	4	5	5	1	28			18		13	
女布	男	4	1	1	1	6	1	6	1	4	11	11	5	5	5	4	4	1	38	93	24	58.06	16	44.09	
	女	4	3	4	4	7	4	7	4	5	8	8	7	7	7	11	11	2	55			30		25	
丸山	男	7	5	3	3	8	6	8	6	8	12	12	6	6	6	4	4	1	60	121	30	52.07	19	35.54	
	女	2	5	8	8	3	5	3	5	9	11	11	6	6	6	6	6	6	61			33		24	
永留	男	11	4	12	16	16	10	16	10	19	27	27	13	13	13	11	11	2	125	275	66	53.82	38	34.18	
	女	11	15	11	11	11	9	11	9	26	27	27	15	15	15	20	20	5	150			82		56	
集計	男	65	61	58	94	80	72	94	72	117	162	162	85	85	85	85	16	16	815	1695	416	53.81	267	37.05	
	女	49	70	65	80	80	74	80	74	114	147	147	107	107	107	124	124	50	880			496		361	
総計	114	131	123	174	174	146	146	174	146	231	309	309	192	192	209	209	66	1695			912		628		

年代別集落人口平成38年3月(推定)

(京丹後市提供資料)

【資料 4】

	0~9歳	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	集計	総計	55歳以上		65歳以上		
													人数	割合(%)	人数	割合(%)	
尉ヶ畑	男	4	4	4	6	7	9	12	10	5	3	64	126	35	55.56	21	35.71
	女	3	2	3	10	6	10	10	8	5	5	62		35		24	
奥山	男	1	0	0	1	0	0	1	1	0	0	5	7	3	71.43	3	71.43
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2		2		2	
二俣	男	1	3	0	2	4	4	5	2	2	28	57		15	54.39	14	49.12
	女	0	3	0	5	4	3	6	5	2	29		16		14		
小桑	男	4	8	3	7	5	11	8	7	2	61	119		30	51.26	22	36.97
	女	3	8	2	5	6	8	7	7	3	58		31		22		
佐野甲	男	3	7	3	6	14	10	8	26	1	87	168		51	61.31	39	47.02
	女	3	5	3	5	10	6	25	9	2	81		52		40		
佐野乙	男	0	1	0	0	3	1	4	2	0	13	24		7	54.17	5	45.83
	女	0	2	1	0	1	0	4	2	0	11		6		6		
佐野丙	男	1	3	2	2	3	3	4	3	1	24	47		11	46.81	11	44.68
	女	1	4	1	1	3	2	3	5	1	23		11		10		
安養寺	男	1	3	1	2	5	8	12	3	3	43	81		29	64.20	24	51.85
	女	1	0	1	7	5	7	9	3	2	38		23		18		
野中	男	3	3	2	6	5	8	13	1	1	47	91		24	54.95	21	46.15
	女	3	2	1	3	7	9	11	1	3	44		26		21		
郷	男	1	4	1	2	5	6	12	3	2	38	75		24	64.00	20	53.33
	女	0	4	0	0	8	6	10	3	3	37		24		20		
円頓寺	男	1	1	0	1	4	6	8	7	2	34	64		24	76.56	19	67.19
	女	0	0	0	0	3	6	10	7	1	30		25		24		
坂谷	男	1	0	0	1	0	2	1	1	0	8	15		5	53.33	3	33.33
	女	0	0	1	1	2	2	2	0	0	7		3		2		
長野	男	2	2	1	4	4	9	4	2	2	31	66		17	57.58	13	39.39
	女	2	1	2	5	3	7	6	5	1	35		21		13		
竹藤	男	0	2	1	2	5	3	4	3	1	26	47		15	68.09	10	48.94
	女	1	0	2	0	1	8	3	2	2	21		17		13		
女布	男	0	4	0	1	6	4	11	4	1	32	73		20	60.27	19	50.68
	女	1	3	1	4	7	5	8	5	3	41		24		18		
丸山	男	5	7	2	3	8	8	12	4	1	56	106		28	51.89	24	42.45
	女	4	2	2	8	3	9	11	4	2	50		27		21		
永留	男	6	10	2	12	16	19	27	9	2	113	235		60	57.02	51	46.81
	女	6	10	5	11	11	26	27	10	7	122		74		59		
集計	男	34	62	22	58	94	72	117	62	24	710	1,401		398	58.17	319	46.11
	女	28	46	25	65	80	74	114	74	38	691		417		327		
総計	62	108	47	123	174	146	231	309	139	62	1,401		815	58.17	646	46.11	

佐濃地域まちづくり計画策定経過

- 平成28年 4月 1日 佐濃自治会発足
- 平成28年 5月10日 地域振興部地域計画第1回会議
今後の取り組みについて意見交換
- 平成28年 5月25日 地域振興部地域計画第2回会議
現在の佐濃地域の現状について意見交換
- 平成28年 6月16日 地域振興部地域計画第3回会議
地域まちづくり計画体系について検討
- 平成28年 7月12日 地域振興部地域計画第4回会議
地域まちづくり計画体系、将来像・基本計画確認
- 平成28年 8月11日 地域振興部地域計画第5回会議
地域まちづくり計画体系、計画項目検討
- 平成28年 8月24日 地域振興部地域計画第6回会議
地域まちづくり計画体系、計画項目確認、
今後の計画スケジュール確認
- 平成28年 9月 6日 佐濃自治会合同部会第1回会議
地域計画について計画体系、スケジュール検討確認
- 平成28年 9月16日 地域振興部地域計画第7回会議
各区現状・課題調査資料検討
- 平成28年 9月30日 佐濃自治会合同部会第2回会議
各部よりの重点計画検討、確認。スケジュール検討確認
- 平成28年 10月 7日 地域振興部地域計画第8回会議
各区長調査依頼内容について検討確認。
- 平成28年 10月11日 各区長に調査依頼
- 平成28年 11月 4日 地域振興部地域計画第9回会議
計画書全体内容検討、確認
- 平成28年 11月28日 地域振興部地域計画第10回会議
各区長調査報告書検討、計画書全体再検討
- 平成28年 12月 1日 佐濃自治会合同部会第3回会議
各区長調査報告書、佐濃地域まちづくり計画(案)検討・確認。
- 平成28年 12月20日 地域振興部地域計画第11回会議
佐濃地域まちづくり計画(案)構成確認。
- 平成29年 1月10日 佐濃区長会に地域まちづくり計画説明
- 平成29年 1月20日 地域振興部地域計画第12回会議 ダラヅィ版検討
- 平成29年 2月21日 地域振興部地域計画第13回会議 ダラヅィ版検討

佐濃自治会合同部会地域まちづくり計画委員名簿

福 祉 部	部 長	井上 正治
	副部長	瀬尾 求
若者交流部	部 長	奥田 大記
	副部長	野村 直義
地域振興部	部 長	山下 博成 (郷区副区長)
	副部長	辻 真通 (佐野甲区副区長)
	委 員	上田 博 (尉ヶ畑区副区長)
	委 員	能勢 嘉隆 (安養寺副区長)
	委 員	山口 光男 (円頓寺区副区長)
	委 員	吉岡 裕之 (坂谷区副区長)
自 治 会	会 長	森本 賢一郎
	副会長	小國 薫
	公民館長	芝野 吉実
	理 事	辻村 敏 (佐野甲区長)
	理 事	吉岡 正博 (竹藤区長)
	事務局	井尻 和歌子

佐濃自治会地域振興部地域まちづくり計画策定委員名簿

部 長	山下 博成 (郷区副区長)
副部長	辻 真通 (佐野甲区副区長)
委 員	上田 博 (尉ヶ畑区副区長)
委 員	能勢 嘉隆 (安養寺副区長)
委 員	山口 光男 (円頓寺区副区長)
委 員	吉岡 裕之 (坂谷区副区長)

現状と課題	対 策
<p>1 交流について</p> <p>【厨ヶ畑】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登山祭り(朝日神社祭り) 参加者も多くなっているが市からの補助金打ち切りのため資金不足。 ・盆祭り 盆に行われるイベントで帰郷されている方も参加される為地区内一番の盛り上がりがある。 <p>【奥山】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園のイベント(遊び石登山まつり)に区も参加した。 <p>【二俣】</p> <p>【小桑】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年より納涼祭を行っています。課題としては、これといってなく皆様さんにも多数参加していただいています。 <p>【佐野甲】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①納涼祭(全区民)自警団を中心に、婦人会、子供会、役員会、ふる里クラブ、Fの会などが準備運営を行い、食品を中心に多様なメニューを提供、区民の半数近くが参加 ②八幡神社春の祭礼(全区民)矢田八幡神社での祭礼、餅まきなどを行い多くの区民やその親戚が参拝する。40年近く前に若者を中心にだんじりを復活させ、宵宮と当日区内を巡行させる。 ③水無月祭(一部)女性中心で茅の輪くぐりなどを行う祭礼、盛んな頃は夜店が並んだ。2年前からFの会がうどんやフランクフルトを出店し、参拝者も増加しつつある。 ④公民館球技大会、軽スポーツ大会(一部)公民館主事、区長を中心に参加メンバーを募集し、例年ほぼ全種目に出場区民の良い交流の場となっている。 ⑤公民館運動会(多数)隔年開催で行う公民館行事。公民館主事、区長を中心に参加メンバーを募集し区民の約半数が参加 ⑥ドラゴンカヌー出場(若者)地域の若者の交流の場として、過去3年間、大会に男女2チームが出場一昨年より区も補助金などで支援している。 ⑦わくわく学習会(小学生)過去3年間、区内の小学生の学習習慣を支援するための活動を行っている。毎週水曜日の午後と第1土曜日などに支援員がついて指導を行う。 ⑧常会(隣組)ほぼ全隣組で、月に1度順番に各家に集まり、区役員会の報告、各種集金、交流など行っている。 ⑨公民館行事参加後の慰労会(一部)各種公民館行事参加の後には、公民館主事が世話役をして慰労会を行い交流 ⑩自警消防団出初め式・定期点検・訓練・慰労会(若者)自警消防団の部長を中心に防災のための活動を行い、若い世代の交流の場 ⑪子供会海水浴(子供・親)区内の児童・保護者が分乗して、夏の一日を町内の海辺で過ごし交流を図る。 ⑫子供会遠足(子供・親)区内の児童・保護者に加え保育園の家族にも呼びかけて、遠足を行う。3年に一度はバスを利用して日帰りで遠くに出かけ交流を図る。 ⑬役員会定例研修旅行(区役員)先進地の視察などの研修を組見込み、中山間、農地水の役員にも呼びかけて1泊2日の旅行を秋に実施 ⑭婦人会忘年会・新年会(婦人会) ⑮クリーン作戦 春・秋(全区民)年2回、隣接する隣組とグループを組、国道沿いのゴミ拾いボランティア活動。 ⑯防災訓練(全区民)市の防災訓練に合わせて、区民総出で消火栓、消火器、消防ポンプ操作訓練 ⑰佐濃谷川・佐野川河川敷草刈り、農道整備(全区民)隣組に振り分けられた範囲の草刈り、草集めなどの作業を夏の早朝に実施。女性もそれぞれに応じた作業を協力して行う。 ⑱区総会(全区民)定例は、選挙、決算、予算の3回区民全員が集会所に集まる。 ⑲都市との交流(過去にアストラゼネカ社の例 過去の例では準備の為に作業員担当が大きく、効果が感じられなかった。 <p>【佐野乙】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐濃地区の運動会、球技大会等には、区民全員で参加するようにしているが、小人数のため出場ができない事もある。 <p>【佐野丙】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年1回程度の納涼祭(地藏盆を)かねた焼き肉パーティー区民全員 ・毎月の集会1家1人代表で金掛けを兼ねた意見交換と区の報告事項等 ・高齢他によるマンネリ化 ・区民の増加ない 	<p>1 交流について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算不足の為イベントが縮小してきている。自治会などに盛り上げの要請をしたい。 ・公民館係が主体で行っている為今後他団体の参加による準備などによりマンネリ化を防がなければならない。 ・今後も持続して公園と連携してイベントに参加し、住民の交流の場を作る。 ・特になし <ol style="list-style-type: none"> ①定着し、参加者増加傾向、今後地域在住者も巻き込んでさらに大きなイベントに出来る可能性がある。 ②2に記載 ③2に記載 ④⑤出場者集めが大変、全区民参加の雰囲気作りが課題、日役にする案、他区と共同する案 ⑥他地区の若者と横断的にチーム作りや、同窓会的交流など大きな意義がある。 ⑦自習内容をさらに工夫し、保護者との連携を深める必要 ⑧組の再編と集会所で全戸による常会を行うなど、工夫が必要 ⑨参加者も多く、よい交流の場となっているが公民館主事、Fの会等の負担が大きい。 ⑩自警消防団の活動だが、点検作業に日当を出すことも検討 ⑪一泊2日が通例、参加者が少なく、今後さらに充実した取り組みすることが必要。 ⑫若い女性の良い交流の場となっている。 ⑬担当場所の固定化など、惰性的になっている。 ⑭災害時につながる訓練は防災計画に位置づけ内容充実 ⑮地域の状況を知り、隣組の若者、高齢者、女性の協力・交流がする良い機会 ⑯発信者は限られる。畳に座る形態は改善必要 ⑰姉妹都市的な交流ノウハウの取得、民泊と里山体験等 <ul style="list-style-type: none"> ・人口の減少に対する有効な対策はない。

【安養寺】

- ①春祭り
 - ・子供が少なくなり子供みこしも出せない状態が続いている。
- ②愛宕祭り
 - ・神社を本神社横に移してから参加者が増加傾向にある。(30名程度)
- ③夏のバーベキュー大会
 - ・区民を対象に本神社でバーベキューを行い、多世代の交流を促進している。
- ④秋祭り
 - ・祭りでは本神社での神事後、区長等を対象に餅まき(福引付)で子供からお年寄りまで幅広く参加者多い(40名程度)

- ②愛宕祭りでは、参加者が増加傾向にあるものの、もう少し区民全体の祭りとなるよう中味の検討が必要。
- ③お年寄りの参加が少ないため、これを高めるための方策が必要である。
- ④餅まきの前に行う神事の行事への参加率を高める工夫が必要。

【野中】

- ・以前、野中区は佐濃地区の中心として、商業が盛んであったが、後継者不足や、近隣の大店の出店などで、衰退の一途です。人口の減少も大きく、高齢者世帯も増えています。そのような中でも、野中の商店街として、売り出しや、イベントなどを開催しています。

- ・個人の土地が狭く、子供が帰ってきてても住宅を建てる場所が無いため、土地の確保が必要です。

【郷】

- 春祭り
 - ・老人、寡婦世帯の参加がない。
 - ・現在は、だんじりの担ぎ手はいるが、あと何年もつか。
- 観音さん 8/17
 - ・幼児達の楽しみになっている。
- 区民懇親会(年一回)
 - ・各戸一人ずつではあるが、老人の参加がない。
- ※敬老会該当年代との交流の場がない。

【円頓寺】

- ・他集落との関わりがほとんど無い。
- ・運動会に参加できない。
- ・高齢化の為若者が少ない。

- ・イベントや施設等を通じて何か出来ないか。

【坂谷】

- ・長野坂谷夏祭り(8月)(長野公民館)

- ・多くの参加者あり

【長野】

- ・老人会も少なくなり、交流の場が少なくなっている。
- ・集落の中に子育て世代が少なく、交流の場がない。

- ・各集落に老人会を再編成する。
- ・サロンやカフェ等の人々の集まれる場の開設
- ・桜・もみじの名所づくり

【竹藤】

- ・区の行事、イベント、スポーツ大会に参加
- ・区内全員参加型行事(さなぼり、地蔵盆、区民忘年会)

【女布】

- ・地区の交流として納涼祭を夏の行事としている。

【丸山】

- ・さなぼり遠足(区民遠足)おじいさん、おばあさんから子供まで一緒に遠足に行く。
- ・夏祭り カラオケ、ゲーム、花火等納涼祭として行う。どうしても子供中心となる。

- ・遠足も夏祭りもいかに老人の人達に参加してもらえるか。遠足なら行く場所。夏祭り 催しもの等考えていく。

【永留】

- ・スポーツ施設を作る。(スポーツを通じて、交流が広がればとかがえる。)

【若者交流部】

- 婚活しています
- 京都府、京丹後市のネットワーク
- 地元の店頭等目につく所へのポスターと、ポストカードでの参加者募集をして、女性は全国から募集。男性は、地元をメインにしております。若者交流部のたちあげは、平成25年です。婚活事業は、平成25年・26年・27年は1回ずつ、28年に限っては、3回続けて婚活をしました。カップルは何組かはありましたが現在結婚まで至っていません。

- その時にカップリングしても、あとが続きにくい為、アフターフォロー等の対策を考えていきたい。
- ①男性向けの講習会
- ②その後の様子をもっと聞く
- 又、どうしても緊張されて、なかなか話が進まない方が多いのでどうやってほぐしていくか・・・。
- 等々考えていきます。

2 伝統・文化行事について

【尉ヶ畑】

- ・春まつり
4月第2日曜日に行われだんじりをかつき地内をねり歩く。
- ・行者さん
9月1日より7日間 夜ほら貝と鐘を鳴らしながら地内を歩きお宮さんまで行く。
- ・天神講
小学生以下 公民館で遊びと食事
- ・新嘗祭
11月区役員、宮総代、宮司さんで祭礼を行う。

【奥山】

- ・大森神社春の祭典
- ・8月愛宕神社 お参り
- ・8月じどう盆
- ・大森神社 出雲参り

【二俣】

【小桑】

・秋の収穫祭、天王山祭を9月吉日に行っています。子供祭とも言われ、鏡内でも相撲を取ったりしています。少子化により、子供が少なく、少し活気がないように感じます。

【佐野甲】

- ①八幡神社春の祭礼(全区民)
- ②水無月祭(一部)
- ③愛宕神社の祭礼 夏・冬(5・6組)
- ④七面神社祭礼、行者山祭礼(一部)
- ⑤総神酒(隣組)
- ⑥地蔵盆(子供・親)
- ⑦戦没者慰霊祭(関係者)
- ⑧八幡神社新嘗祭(区長・総代)
- ⑨葬儀組合(隣組)
- ⑩伝統の復活

【佐野乙】

・区民全員が、西念寺檀家であるので、除夜会等の寺行事が、年間7回あるが、参加者が年々空少なくなっている。

【佐野丙】

- ・地蔵盆祭り 8月23日
- ・行者山祭り 8月17日
- ・主神様 八幡神社の春祭り 4月 第2日曜日

【安養寺】

- ①地蔵盆
・子供(少・中学生)がいない為、行事ができない。
- ②地域の運動会、スポーツ大会
・区長会、公民館主催の運動会、スポーツ大会への参加率が減少している。
- ③愛宕祭り
神事(礼拝)18時～
- ④秋祭り
・神事15時～ 餅とまき 16時

【野中】

・春に野中天満宮の祭りを行って、餅まきや、神輿の巡行を行っています。年末には、区民が参加して、天満宮飾る、しめ縄を作っています。

【郷】

- 春祭り
・老人、寡婦世帯の参加がない。
- ・現在は、だんじりの担ぎ手はいるが、あと何年もつか。(過去は中断もあり)
- 観音さん 8/17
・老人の参加が減っている。
- ・幼児達の楽しみになっている。

2 伝統・文化行事について

- ・若者の知人など、他地区の人に頼んで担いでもらっている。4月に祭りでない他地区の人にアピールすることにより人手不足を補っている。
- ・備品の整備(ほら貝・鐘)
- ・少子化が現実的になり参加者が少なくなっている。

・今後も持続していく。

・こればかりは仕方ないので、現状維持の努力を行なうようにしたいと思います。

- ①だんじりの担ぎ手不足(区出身者へのはがき案内等) 伝統継承の為子供だんじりを作る。 ②更に広報し参拝者を増やす。出店内容をさらに充実する。
- ③④共、広く区民の参加が出来るように広報する。
- ④神社の管理を愛宕神社のように組単位にする。
- ⑤子供も参加してのそば打ちは継承したい。 ⑧区長と宮総代以外にも広報を行い地域の行事とする。
- ⑨土葬もなくなり、自宅での葬儀が減少したので葬式組合を再編する必要がある。 ⑩佐野城跡などに纏わる歴史を掘り起こし活性化の指針とする。出雲参り(10月28日)、お伊勢さん参りの復活。

・人口の減少に対する有効な対策はない。

- ①地蔵盆 区の行事として、継続していく事を検討する必要がある。
- ②運動会、スポーツ大会 昔は、区の賦役的イメージが有、参加率が高かった。今日では、参加するのが珍しくなり、区民の意識を高揚させる事が必要。
- ③神事のみならず、何かをプラスする。
- ④多数の参加を得るため、神事13時～ 餅まき14時～とする必要がある。

・若者が少なく、神輿を担ぐのも区民だけでは行えず、他部落の応援を仰いでいる。

- ・しめ縄も、作れる人が少なく、年に1度だけでは覚えることも出来ず、出来上りの購入を考えています。

【円頓寺】

- ・伝統等、現状知らない事が多い。
- ・地区の行事等多々あるが参加が少ない。
- ・地区等に重要文化財があるが活用出来ていない。(仁王門・薬師像等)

【坂谷】

- ・三柱神社 山の上であり維持管理が難しい
- ・春祭り 神主による祭礼(4月)
- ・長野大岸神社にて社日祭(3月)長野 竹藤 坂谷
- ・お講さん 年2回

【長野】

【竹藤】

- ・1月 新年会・どんどや・お日待ち 2月 お講さん 4月 貴船祭礼・大人だんじり・子供だんじり・稲荷祭礼 5月 さなほり 7月 お日待ち
- 8月 地藏盆
- ・天神講

【女布】

- ・女布の神社の春祭りを4月に行う。

【丸山】

- ・春祭り(4月の第2土曜日)だんじりがかつぐ人数不足で大変、若い人達の友人に来てもらい、行うのが精一杯。

【永留】

- ・春祭り(4月の第2土曜日)参加者が年々減少している。
- ・愛宕神社の祭礼 山頂で行うためか、お参りが減少している。

- ・例えば佐濃小跡地を利用し、施設等建て、誰でも足を運べる環境作りが必要。
- ・人口の減少が進み、対策と言うより、根本的に・・・

- ・長い階段の為神社の掃除(落葉)が大変 ボランティアが必要
- ・他地区との祭礼 共同開催
- ・五穀豊穣 春のみ参加
- ・春(1月) 秋(11月)

- ・公民館を中心に文化行事に取り組む

- ・子供達に参加してもらい、祭りの意義や楽しさを理解してもらおう。

現状と課題	対 策
<p>1 福祉について</p> <p>【耐ヶ畑】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全組合によるピオトープや川で生き物 調査・勉強会の実施 <p>【奥山】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・井上支援員が見回りを行っている。 <p>【二俣】</p> <p>【小桑】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供達により川の生態調査を夏休みに行っています。子供が少なく活気が少し欠けています。 <p>【佐野甲】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ふれあいサロン(高齢者) ②わくわく自習室(小学生) ③区全体に対する民生児童委員の活動(要支援者) ④隣組に対する常会を通じた組長の活動(隣組) <p>【佐野乙】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区が主体となって行っている事はない。 <p>【佐野丙】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人家庭(1人家庭)が多い(部落の約半数) <p>【安養寺】</p> <p>①子供の減少により廃品回収等も実施出来ない、又、子供も見守り活動も必要ない状況。</p> <p>【野中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園児、小学生を対象に、天神講、クリスマス会を公民館で行いお母さんたちが食事の提供をしています。 ・8月の地藏盆には、子供たちが、地藏さん付近を電飾で飾り、高齢者の皆さんと一緒に地藏盆に参加しています。 <p>【郷】</p> <p>【円頓寺】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内部では、高齢者に気を配っているが、外に仕事に行く人が多く目が届かない、現状では個人で見回る、1人暮らしの家もあり個人では限界がある。 <p>【坂谷】</p> <p>【長野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨の日の子供の遊び場がない ・交通弱者(買い物等)に対する公共サービスの充実 <p>【竹藤】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区敬老会 ・婦人会・老人会・シニアの会活動 <p style="text-align: right;">福祉ボランティア活動</p> <p>【女布】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここ数年子供が増えている。 <p>【丸山】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉については、個々の意識が少ないと思う。 <p>【永留】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織はしていないが、小学校の登校時に見守りがされている。 <p>【公民館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化が進んでいる中で、子供会活動が成立出来なくなっている集落も出てきている。 	<p>1 福祉について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTAや各団体による地区行事などへの参加 ・引き続き支援員さんの見回りをお願い出来ればと考えている。 ・子供達だけでなく、PTAも多数参加して行うのもいいと思います。 <p>①担い手の高い活動意欲で10年継続、世代交代が課題 ・集会所を開放して気軽に集まって談話出来る環境の構築 ②保護者の理解と子供の興味をそその内容の検討。講師として色々な人材の掘り起こし ③継続して推進する。 ④連絡・報告だけでなく、情報交流などの機会として機能させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後何ができるか検討する。 ・子供の減少に伴い、活動は小さくなりますが、区民も参加して地藏盆を盛り上げる必要があります。 ・行政の方で動けないか。 ・体育館の開放 ・地域でのデマンドバス等の必要性の検討 <p>・福祉協議会や民生委員さんと協力しながら進めて行く事。また、個々が福祉について考えを持って行くことが必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で子供を見守り、育てていく観点からも佐濃地区全体で子供会活動を組織していく必要がある。子供を支援に関しては親同士の交流も不可欠であるとかんがえる。

2 高齢者について

【耐ヶ畑】

- ・近隣の家での見守り
- ・民生委員の巡回見守り

【奥山】

【二俣】

○グループ活動

- ・年に数回公民館の清掃と草取りをしている。
- ・道路沿いに花を作って楽しむ。

【小桑】

- ・民生委員さんと協力し、独居老人への声かけなど行っています。今の所、対象者が少ないので活動としてあまりないです。

【佐野甲】

- ①ふれあいサロン(高齢者)
- ②老人クラブ(高齢者)
- ③生き甲斐につながる活動(高齢者)

【佐野乙】

- ・区老人会が(70歳以上)が、年1回は、日帰り遠足(観劇など)に行っているが費用の捻出が難しくなっている。

【佐野丙】

- ・年々増えている。区民の約半数

【安養寺】

- ①隣近所の見守り、声掛け、又、民生委員の訪問活動にゆだねられている。
- ②区民を対象にしたバーベキュー大会、餅まき等で一定交流が有るものの、日常での関わりは不十分である。
- ③老人会が組織されており、取り組みは活発である。

【野中】

- ・ゲートボールチームを結成して、大会に参加しています。
- ・区の役員は、配布物を配る時、高齢者世帯では、声掛けなどをして、確認をしています。

【郷】

- 区民交流などの集まりに参加が少ない。
- 参加者が少なく老人会も解散した。

【円頓寺】

- ・少子高齢化により将来が不安

【坂谷】

- ・公共交通の便が悪く運転免許の返納が出来ない。
- ・市バスのバス停まで遠い。(特に冬)

【長野】

- ・健康で長生きすることが重要

【竹藤】

- ・見守りの習慣
- ・賦役免除
- ・草刈り、除雪など

【女布】

- ・ここ2、3年は無く亡くなっていないが、老人は多い。

【丸山】

- ・丸山区でも独居老人がいる、これからも増えるだろう。

【永留】

- ・永寿会で、公民館や、神社周辺等で環境整備等しながら集まりがある。

2 高齢者について

- ・交流の場を持つ

- ・これから先も同じ様に行っていきたいと思いません。

- ①スタッフの活動意欲が高く、継続に向けて展望が有る。
- ②役員の後継者がなく、解散したが、高齢者の交流の場として復活待望。
- ③わら細工、竹細工、餅つき、田舎料理などの伝統を継承する機会、場をつくり、講師などを選定し、集会所を開放して気軽に集まって談話出来る環境作り。

- ・区会計からの補助の増額を検討中

- ①独居老人の見守り、買い物支援

- ・同居する若者は、昼間は外で働くので、その間の、見守りが必要です。

- ・田舎暮らし等を利用し、空き家等の再利用、予算的に個人では難しい。

- ・佐濃地区に福祉タクシー
- ・土日祭日運行がない

- ・わら細工等高齢者の技術の伝承が必要(6次産業につながる)

- ・いかに周りの人達が気を付けて助け合うか。

3 健康推進について	3 健康推進について
<p>【尉ヶ畑】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に行っていない <p>【奥山】</p> <p>【二俣】</p> <p>【小桑】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 <p>【佐野甲】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①わくわくラジオ体操(子供・一般) ②健康体操(機業センターまでの送迎がネック)(高齢者) ③卓球同好会(5人ほどの女性グループ)(女性) ④ウォーキング(指向者) <p>【佐野乙】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区としてはない <p>【佐野丙】</p> <p>【安養寺】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①健康推進を配慮しているが、区内の取り組みはない。 ②総合健診の受診率は低い。 <p>【野中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育友会による、夏場の子供たちによるラジオ体操の実施。 <p>【郷】</p> <p>○高齢者対象の運動の機会を設けてもらうにしても、音頭取りがいるか？</p> <p>【円頓寺】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐濃地区には医療施設が無い <p>【坂谷】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬期は野外の健康づくり 活動が難しい。 <p>【長野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各集落に健康推進委員が配置されているが、区役員との兼務が多く1年任期となっているため機能していない。 <p>【竹藤】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区軽スポーツ大会、運動会参加、ラジオ体操 <p>【女布】</p> <p>【丸山】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々で気をつけて歩いたりしている方がいる。 <p>【永留】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会で行っている健康推進行事への参加 <p>○高齢者の健康推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のつどい場所が無い。高齢者は移動が難しいので市からの協力を得て、体操とか、話等、年で数回もあつたら良い。 <ol style="list-style-type: none"> ①一般の参加者が広がれば通年の取り組みも ②機業センターで実施の健康体操を区に出張して実施 ③参加人数と卓球以外の種目への拡大を期待 ④無理に組織化するのは無用、裾野を広げるため多彩なコースを整備する。 <ul style="list-style-type: none"> ・今後検討していく。 <ol style="list-style-type: none"> ①健康推進委員、福祉委員により、区内での事業実施を検討する必要がある。(請召会、健康体操等) ②総合健診の受診率を高める。 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に出来る、簡単な体操の実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進んでいる、早急な対応が必要な為、市へ要望出来ないか。定期健診の呼びかけ。 <ul style="list-style-type: none"> ・送迎付きの健康教室 <ul style="list-style-type: none"> ・自治会で地区の推進委員と一緒に、計画的に健康教室を開催したり、全体を対象とした教室を開く。 <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みにラジオ体操を子供と一緒にしている人がいた。世代を超えて一緒にスポーツ等をすることは、良いのではないか。 <ul style="list-style-type: none"> ・健康作りの講演

現状と課題	対 策
<p>1 農業について</p> <p>【耐ヶ畑】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作物を作っていない農地が増えている。 ・畦の草刈りだけの農地がある。 <p>【奥山】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放置農園が多い。 <p>【二俣】</p> <p>○地区の農業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうにか農地を守っているに過ぎない。 ・獣の被害は大きく、資材も大変である。 ・11月より春肥の価格が下がるそうですが、そんなことはたいした希望ではない。 <p>○中山間事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の所集団作業は出席も良く出来ているが、個人の田作りがいつまで続くか心配である。 <p>【小桑】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の所米作りが主として行われています。飯米が多いです。 ・有害鳥獣防護柵の設置を行っています。 <p>【佐野甲】</p> <p>①久美浜商事にお任せの農地管理(農地集約)</p> <p>②中山間・農地水等補助事業(効果)</p> <p>③水路の維持管理(土砂堆積)</p> <p>④零細規模の細々とした生産</p> <p>⑤里山の山水と良質なコシヒカリ(販路開発)</p> <p>【佐野乙】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家は減少したが、耕作放棄地は増加していないが、区以外からの耕作者がいなければ、それも難しく、又、獣害も多く現状維持が精一杯である。 <p>【佐野丙】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業後継者不足 <p>【安養寺】</p> <p>①兼業農家がほとんどで、10年先は高齢化率も高くなり農地が守れない。</p> <p>②農業に係わる、ぶ役も実施出来なくなる。</p> <p>③農業は、経営でなく国土保全である。</p> <p>【野中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米を生産する農家は在りましたが、高齢化に伴い、農地を他人に貸して、こめ作りを止められました。野菜を作る人はいますが、家庭菜園程度の規模です。 <p>【郷】</p> <p>○大規模農家が少なく、耕作機械も高価で共同保有の家が多い。</p> <p>○他部落の農家に水田の管理を依頼している方もおるが、田のサイズ、地の利、後継ぎ等で受けても減りつつある。</p> <p>○家庭菜園は結構されている。</p> <p>【円嶺寺】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今は維持出来ているかもしれないが、将来的に、人数不足により荒れていくであろう。 ・後継者不足 <p>【坂谷】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中山間地が多く担い手不足 <p>【長野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家の高齢化、担い手不足が進んでいる一方、法人化が進んでいる。 	<p>1 農業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業組合同的な法人組織を作る。 ・新規就農者が1名入り、一部使用する。 ・現状維持で行きたいです。 <p>①農業の集約化に向けて、農地の区画を大きくして大型農機による効率化を進めているが、さらなる効率向上が望まれる。</p> <p>②農地の老朽化対策を急ぎ、先進的取組に転換する必要がある。</p> <p>③中山間・農地水等補助事業を活用した整備</p> <p>④田畑のオーナー制度</p> <p>⑤JA以外道の駅のような販売ルート構築</p> <p>○野菜の植え付けと収穫体験、草狩り体験、田舎料理</p> <p>○都市からの就農者募集や誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・獣害防止ネットの設置を進める。 ・野中バイパス付近の宅地転用を期待します。 ・若い人が取り組む為には、安定した所得が要る為、事業としてやるべき。 ・有害鳥獣防止策の整理 ・佐濃南・北ごとに、京力農場プランを作成し、農業が出来なくなった場合は、農地を集約し、自分たちの集落で守るか、集落外の担い手に預けるのかを決める必要がある。自治会で、多面的交付金の事業を佐濃全体を一つの集落として取り組む必要がある。メッシュの設置を佐濃全体で計画。

<p>【竹籐】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「土地・水」活動 ・電柵・ワイヤメッシュ設置、管理 ・3月草焼き ・営農組合 <p>【女布】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今は、エチエ農産があって、稲作の作れない人の田の管理をしている。 <p>【丸山】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去には、24haあった農地も現在21haほどに。米を作っている農家も1/3ほどに、全国の農家と同じ高齢化になっている。 <p>【永留】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿や、イノシシ等に農産物をあらされているのが現状。 	<ul style="list-style-type: none"> ・営農組合または、法人化が区の農業を守るただ一つの方法か？ ・米作りで一番大変な溝掃除、草狩り等機械代。また、米以外の作物。 ・鳥獣の捕獲が必要。 ・京阪神等に販売ルートが必要。(農産物等)
<p>2 山林について</p> <p>【尉ヶ畑】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の森林組合はあるが、個人の山の管理は出来ていない。 <p>【奥山】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿・イノシシの被害で山が荒れている。 <p>【二俣】</p> <p>○山林対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・怖くて入れない。 <p>【小桑】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>【佐野甲】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①獣害防止里山林整備事業(現在一部山林) ②愛宕山・比治山峠桜木の植栽(景観向上) ③水路の傷み問題(土砂堆積) ④間伐手入れが出来ていない <p>【佐野乙】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山事業で、林道が整備されてきたので、今後は、山林の管理もしやすくなると思うが、事業で作った林道の維持が出来るか心配である。 <p>【佐野丙】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林道整備事業により林道の整備が現在進行中、しかし、その後の山の手入れ等することが区民では不可能に近い <p>【安養寺】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①生活様式が変わり、焚き木等の搬出する必要もなくなり、山に誰も入らない。又、鹿被害も有り松茸も取りにいかない。 ②家の裏又は農道沿いの山林では、ケン切りすら出来ない状況であり、住環境にも影響を与えている。 <p>【野中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山に入る人なく、荒廃が進んでいます。 <p>【郷】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○昔段から山に入っている人を見ない。 ○人の往来がないから道も歩けないほどササや雑木・倒木で覆われている。 ○勤め人が多く山に入る時間がないし、木材の利用がほぼない。 ○山道は昔ながらの道で幅員が狭くクローラーが通れる道も少ない。 ○手入れが出来ないので、獣との境界線が無くなっているのではないか。 	<p>2 山林について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区での見直し。 ・狩猟免許を持っている者で檻を設置する。 <ol style="list-style-type: none"> ①事業を区内全域の山林に広げ、里山を蘇らせて、獣害を減少させる。 ②将来、区管理のキャンプ場、里山遊歩道、ログハウス整備 ③点検・維持管理の日常化又は外部委託、ボランティア ④補助金を探して森林組合に間伐作業を依頼、木材は薪に <ul style="list-style-type: none"> ・今後検討する。 <ol style="list-style-type: none"> ①森林整備事業(間伐)等により、間伐等を行い、風通しの良い山林とする。これにより、鹿被害等の防止、住環境の改善にもつながる。 <ul style="list-style-type: none"> ・数年前に、山林委員会で区有林と民間林の境界を設定。

<p>【円頓寺】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民に興味が無く人不足も有り維持ができない。 <p>【坂谷】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雑木による山林放棄。 <p>【長野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荒れ放題、境界不明な状況にある。 <p>【竹藤】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林道手入れ <p>【女布】</p> <p>【丸山】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在木材の価格が安く山林に興味がない。 ・丸山においても過去には、山の木の下草狩り等はしていたが、現在年に一度、山を見に行くのが精一杯。 <p>【永留】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山林は、管理が出来ていないのが現状。 	<ul style="list-style-type: none"> ・森林組合へ管理の依頼。 ・各集落、森林経営計画を作成し、計画的な山の整備が必要である。 ・木材の価格の上昇。 ・山の魅力を考える。 ・森林組合都の連携
<h3>3 6次産業について</h3>	
<p>【尉ヶ畑】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人での販売ルートのある人もいるがない人が多く農産物の加工に関して関心が少ない。 <p>【奥山】</p> <p>【二俣】</p> <p>【小桑】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハウスでトマトを栽培され、加工して販売されている。 <p>【佐野甲】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①地元野菜加工品(加工所) ②木材、竹材加工品(販売所) ③花木類の販売 <p>【佐野乙】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何も無い <p>【佐野丙】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者が増えて定住できる環境整備 <p>【安養寺】</p> <p>取組が無い</p> <p>【野中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何もしていません。 <p>【郷】</p> <p>○区内には従事者はいない。 ○定年退職した元気な年寄りが当面は増えるだろうから、その辺の活用がカギかもしれない。</p> <p>【円頓寺】</p> <p>【坂谷】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人数を集めての加工技術の向上を図る。 ①補助金を利用して地元野菜の加工所開設、高齢者用火水風以外に区の近くに販売所開設、高齢者活用 ② ①と同様に加工所と販売所を開設して高齢者を活用した商品を加工、販売する。 ③花の愛好女性が多いので、育成・管理し販売する。 ・何も無い ・若い人が働ける地元で環境整備 ①地域で農業等の法人化を進め、生産、加工、販売等一貫した体制を構築する。 ・地域野農産物による特産品の開発(農家さん、ふれあいサロンの皆さん、菓子屋さん、料理屋さん、総菜屋さん)などが協力して行うことで、それぞれがつながり、地域の元気につながるのではないかと?

【長野】

- 工手工農産で加工品が作られているくらい。

【竹藤】

- 地区イベント、行事などに出店

【女布】

【丸山】

- 現在、個人的に自分で作った物を加工して販売している人がいる。

【永留】

- 加工施設の建設は困難であるため、担い手と共同で進める必要がある。
また、山の整理を含め薪の販売が投資が少ない。6次産業ではないが、手芸等多くの方が趣味で、いろいろと物づくりをされていると思うが、それを販売する場が必要。集落一品など自慢できる特産品づくり。

- 会社組織を作って進めて行く方法がいいのではないか。
- 新たな雇用も生まれると思う。

- 視察を実施して、地域に合う事を考えたら。

現状と課題	対 策
<p>1 インフラ整備について</p> <p>【尉ヶ畑】</p> <ul style="list-style-type: none"> 区内道路の舗装状態が悪い。穴があき車や自転車のパンクが数回起きている。 <p>【奥山】</p> <p>【二俣】</p> <p>【小桑】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の防災体制として自警団があります。地区内の消火栓の点検を行ないます。地元での仕事の方々が少ないのでいざと言う時に不安です。 <p>【佐野甲】</p> <p>①道路整備(舗装傷み・通勤時間)</p> <p>②区独自の交流センター</p> <p>③佐濃地区イベント、加工・販売施設(文化)</p> <p>④佐濃地区防災施設・避難施設(防災)</p> <p>【佐野乙】</p> <ul style="list-style-type: none"> 区内を通る佐野竹藤線は、幅員が狭いが、最近は交通量が増加していて、溝蓋の騒音が大きく、改善を望んでいる。 山林からの土砂の流出が、近年多くなっていて、谷川等に堆積が激しくそれらの浚渫に費用が多くかかる。 <p>【佐野丙】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人のインフラが進んでいない。 個人でも出来る補助制度の整備 <p>【安養寺】</p> <p>①幹線道路(佐野安養寺線)は、整備済(W-5m)</p> <p>②支線道路(野中安養寺線)は、巾員も狭く(W-2.5m)コンクリート道路でヒビ、キレツが多い。</p> <p>③河川(安養寺川)は、災害で崩壊箇所もあり、土砂の堆積が目立つ。</p> <p>④地域のインフラ整備として、野中小天橋線の道路が狭い。</p> <p>【野中】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の国道は道幅も狭く、歩道も狭く大変危険です。国道312号、野中バイパスが工事中で一日も早い開通が望まれます。 佐濃谷川と安養寺川が合流する付近は、大雨による増水で、野中地内は浸水の被害に会います。 <p>【郷】</p> <ul style="list-style-type: none"> 山林の手入れもされず、山奥の水田は原野になっている関係か、降雨時の保水が悪く平時の河川の水量は少なく雨が降ると急に増水するように思われる。 費用対効果の関係で人口密度が非常に少ない所は、手当てされてこなかった様に思います。 佐野竹藤線のようなショートカット道路は、重要な生活道路でも幅員が狭い。 後継ぎのいない世帯もあり、人口は増える要素が見えない。 進学で地元を離れたものが、戻れる場所が、少なすぎる。 <p>【円頓寺】</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路設備が悪く将来が不安。 <p>【坂谷】</p> <ul style="list-style-type: none"> 坂谷集落、雪の吹きだまりの為積雪が多い。 土砂災害対策。 <p>【長野】</p> <p>【竹藤】</p> <ul style="list-style-type: none"> 農道舗装、補修・水路管理・井堰管理・自警団活動・河川草刈り 	<p>1 インフラ整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> 府や市への要望の継続。 現状維持で行きたいと思います。 <p>①区内道を市道から府道に昇格させ府民公募型事業で整備。 福知山、綾部、舞鶴へ50分以内で通勤できるルートの整備</p> <p>②駐車場、宿泊設備を備えた施設</p> <p>③ ④を兼ねた総合コミュニティーセンターの建設</p> <ul style="list-style-type: none"> 府民公募に申請する。 区会計で処理出来ないので、今後検討する。 <p>①市道(支線)の修繕</p> <p>②河川の法面崩壊箇所の改修</p> <p>③河川の浚渫(土砂の撤去)</p> <p>④地域幹線道路(府道)の拡幅</p> <ul style="list-style-type: none"> 野中バイパスの工事と並行して、安養寺川、佐濃谷川の治水対策が必要です。 国道312号が市道に格下げになる前に、道路消雪、橋の安全対策を行う必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> 1日1回の除雪では、集落が孤立する。市道が狭い。 全戸が危険区域 対策がない。 集落内道路の整備 集落と集落をつなぐ道路整備 どこでも携帯電話がつながるように

<p>【女布】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府道が狭いのもっと広くしてほしい。 <p>【丸山】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丸山区は、地域が狭いので道路整備や防犯灯等生活基盤は、整備されている方だと思う。 <p>【永留】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村に配備の除雪車が小さい。 ・道路の整備が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・尚、悪い点は少しづつ向上させていけば良い。 ・除雪機の大型化(時間短縮) ・安全・安心できるよう街灯の増設。
<p>2 地域医療について</p>	<p>2 地域医療について</p>
<p>【尉ヶ畑】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院までの足が家族に頼っている家が多い。 ・高齢独居者はディサービスに頼っている。 <p>【奥山】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自家用車以外の病院への交通手段がない。 <p>【二俣】</p> <p>○病院の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐濃診療所には近くの人利用も多く助かっている。 <p>【小桑】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>【佐野甲】</p> <p>①久美浜病院(待ち時間・診療の質・アクセス)</p> <p>②佐濃診療所</p> <p>③市定期健康診断</p> <p>【佐野乙】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐濃診療所が近くて良いが、内容が充実していない。 <p>【佐野丙】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・久美浜病院の充実、特に整形外科等の医師の常勤 <p>【安養寺】</p> <p>①佐濃診療所の施設が狭く、駐車場も狭い。</p> <p>【野中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐野診療所が週一日の診療を行っています。 <p>【郷】</p> <p>○佐濃診療所に総合医の常駐が望まれる。医療設備も高額なため、検査が出来ないにしても、簡単な診察診断のできる専門を限定していない総合医をお願いしたい。</p> <p>○バスは病院まで40分かかるため、元気なものしか乗れない。救急車未満の病人の事も考慮願いたい。</p> <p>【円嶺寺】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣に何も無く、医療施設が遠い。 <p>【坂谷】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐濃診療所 診察日が少ない。 <p>【長野】</p> <p>【竹籐】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合健診 <p>【女布】</p> <p>【丸山】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あまり意識したことがない。避けられない。 <p>【永留】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な公共交通の利用促進と整備。 ・高齢者が多いので、病院への交通手段としてバスを回してほしい。 ①医師の数を増やし、外来診療の待ち時間を短縮、診療・治療設備の充実して、治療の信頼度を上げる。通院困難な患者のための訪問看護の充実 ②週1回でなく常時の診療体制 ③検診で病気が見つかった例が少なからずあり継続実施を ・特になし ①地域コミュニティ活動拠点の計画と併せて広く、診療に容易に行ける場所への移転も検討すべきである。 ・佐濃診療所の医師が地域の、かかりつけ医師としての役割を果たす必要があります。 ・市への要望で何とか出来るものであれば。 ・病院まで遠いので訪問診療の実施 ・久美浜病院の受診科目と医師の充実 ・地域医療を勉強していく。 ・医師の確保

3 将来のふる里について

【蔚ヶ畑】

- ・人口減少 特に子供が少ない。
- ・帰ってきての定住が期待できない。

【奥山】

【二俣】

○少子化問題

- ・子供がいらないのは最大の不安で未来がない。

【小桑】

- ・今まで通りで行けたらいいと思います。

【佐野甲】

①若者の定着(経済)

②世帯数の減少(家跡継)

(現在70、10年毎に10世帯づつ減)

③高齢化

【佐野乙】

- ・現在でも限界集落となっているが、今後もさらに戸数・人口が減っていくだろうと思われる。

【佐野丙】

- ・人口の増える環境づくり
- ・産業等の誘致

【安養寺】

①佐濃地域は、東は、野田川大宮道路、南は但東町、西は豊岡市に接し、観光の中心となる。浜詰、湊の海水浴場が北側にあり、産業、観光の振興にとって重要な位置にある。

②野中商店街、郵便局、駐在所、旅館等や、奥山公園、永留運動公園等主要な施設も多く抱えている。

③17集落をまとめる佐濃自治会も発足した。

【野中】

- ・人口減少と高齢者、独身者の増加、地域産業の衰退と良いところが無いです。

【郷】

○進学して地元を離れた人たちが、私立学校の費用を返済しながら生活できる就業先を確保できないので、帰ってこないと思われる。

○生活できる仕事があれば、定住者も増え子供も増え、人口バランスも少しは改善する。

○医療水準が上がリ、老人の高齢化は進むだろうから、新しい人口バランスで検討が必要と思われる。(人口維持or増加)

【円頓寺】

- ・不便、町外に出た時帰って来にくい。

【坂谷】

- ・道路巾が狭く行き止まり。

【長野】

- ・空家の増加

【竹藤】

- ・区内農地・土地の維持、保全

【女布】

3 将来のふる里について

- ・小さい頃から地区行事に参加することにより、人とのつきあいを増し、溶け込むような体制作り。

- ・奥山出身者でふるさと会を開催する。

- ・特になし

①若者の家庭が増えるような環境作り

若者の仕事の確保

谷工業団地等への積極的な企業誘致

②現在適齢期の独身者が結婚して跡継ぎが出来るような支援 今の子供に佐濃地区の良さを埋め込んで将来の帰還に繋ぐ

③高齢者が安心して暮らせる地域づくり

- ・今後検討する。

①府道(野中小天橋線)の拡幅改良により、地域のみならず観光等のルート確保。

②地域の企業、事業所等の連携により、交流促進を図る。

③佐濃自治会を軸として、傘下の17区が一体となり、地区内の活性化を図る。

・子供たちが元気に遊ぶ姿が見られるまちが一番大切です。

・移住者の促進、住宅地の確保、機業センターに代わる、地域のコミュニティセンターの建設が必要です。

・降雪地域であり道路幅狭く将来に大きく影響する。

・限界集落対策が必要。

・空家を活用し、移住を図る

・豊かな農村風景が広がる村

【丸山】

- ・限界集落に向かっているのは。

【永留】

- ・仕事先が少ない。

【若者交流部】

婚活からカップリングになり定住して頂きたいですが、先に進まず結婚、定住にいたらず。

・現実を受け止め限界集落の区の中でどうやって生活していくか考えなければならない。いかに、その中で生きがいを見つけるか？

- ・若い人に仕事先が確保出来るように企業誘致。

今後結婚する上で結婚、定住につながる様、また、子供つれでも住んで不安のない様に行けたらと思います。
交流部でカップリングになった方へ度々イベントを開くなど。